

■科目ごとの授業方法・内容：養護教諭一種免許状

授業科目の名称	講 義 等 の 内 容	授業方法
【領域及び教職に関する科目】		
環境と健康	ヒトの馴化や適応力から考えると適度な環境変化が健康に良い影響を与えることがある。しかし、過度な環境変化やたとえ小さな変化でも健康を大きく害することもある。環境の要因を見つめなおし、自然環境と人間との相互作用、グローバリズムに伴う環境変化など健康に環境が与える事象について学ぶ。	講義
社会健康学	人間の健康について、社会環境がもたらす影響について学ぶ。人間の健康と社会環境との相互作用、家庭、職場、学校、コミュニティでの人的環境と人間の健康との関係、多様な社会背景（人種、性格、学歴、価値観など）が人間の健康に与える影響、社会環境（家庭環境、職場環境、学校環境、地域環境）の変化が人間の健康にもたらす影響について学ぶ。	講義
保健統計学	保健統計学は医学・看護学分野での研究や地域保健活動などにおいて有効性や保健政策や健康プログラムの評価に必須の知識になっている。看護師として必要な統計学に関する知識や手法だけでなく、様々な厚生労働統計資料の見方や考え方を学ぶ。	講義
公衆衛生学（疫学）	公衆衛生は、広く地域社会の人々が生涯にわたり疾病を予防し健康を保持増進し、QOL(生活の質)の向上を組織的に取り組んでいく衛生活動で、疫学・保健統計に基づき、適切な制度や施策により、行政、医療・福祉などの専門家が協働して総合的に展開する。公衆衛生の概念と活動、公衆衛生の制度としくみ、疫学・保健統計、環境と健康、感染症と予防対策、地域と健康、母子保健、高齢者保健、成人保健、精神保健、障がい者保健、学校保健、産業保健、災害保健、国際保健、等について学ぶ。	講義
学校保健	学校保健の役割のひとつは、幼児・児童・生徒・学生に安全な学習環境を提供し、健全な心身の成長発達を促すことにある。それぞれの発達過程に応じた健康ニーズを充足するための方法を知り、学校集団における幼児・児童・生徒・学生の健康問題を通して、学校保健の仕組みや健康管理について理解する。	講義
養護学概説	学校教育および学校保健活動における養護教諭の役割を理解し、養護教諭に必要な知識や基本的技術を学ぶ。養護教諭が行なう保健室実践、保健管理、保健教育、相談、援助実践、保健組織活動などの実際について事例や演習を通して理解する。また、専門職としての意識を高めるための基盤とする。	講義
健康教育論	看護者のケアを受ける人々、即ち乳幼児、児童、生徒、思春期、青年期、成人期、成熟期、老年期にある人々の心身の健康の保持増進、健康からの回復を目標に、健康相談、指導、助言等の健康教育を行う基礎となる理論及び教育方法を学び、実際の健康相談や教育に活用するための基礎能力を身につける。	講義
地域包括ケア論Ⅲ（地域・学校）	看護専門職として、地域で生活する人々の健康とQOL向上を支える視点を踏まえた地域看護および地域包括ケアの基本的な考え方を理解する。地域看護の概念および全体像、プライマリヘルスケア、ヘルスプロモーションおよび地域包括ケアシステムの知識、対象者の健康レベルや発達段階に応じた支援等について、地域のヘルスニーズに対応した地域看護活動の展開と実践方法を学ぶ。また、健康で安全な地域社会の構築を目指した看護職の役割・機能について理解を深める。 心身の健康支援について、教育相談やカウンセリングの基礎となる考え方を学び、人間関係の理論等を理解する。特に、児童生徒等の心身の健康支援における健康相談活動の基本的基礎理論と技法を学ぶ。	演習
栄養学	食物の栄養機能を学び、疾病やライフステージに応じた栄養管理の基礎知識を修得するとともに、患者や利用者へ適切な食事指導を行う能力を養う。日本人の栄養状態の現状と課題、食事摂取基準の考え方と各指標、エネルギーや栄養素の食事摂取基準、炭水化物の栄養、たんぱく質の栄養、脂質の栄養、ビタミンの栄養、ミネラルの栄養、栄養状態の評価とケア、疾病と食事療法（病院食・栄養補給、糖尿病、腎疾患、脂質異常症、高尿酸血症、消化器疾患、循環器疾患等）、ライフステージと栄養管理等について学ぶ。	講義
生化学	生化学は、生命存続、健康の維持や疾病の発生に関わる分子的、化学的レベルでのしくみを理解するための基礎として学ぶ。細胞の構造と機能（細胞膜、核、ミトコンドリア、リボソーム、リソソーム、小胞体、ゴルジ装置、等）、生体を構成する物質（糖質、脂質、タンパク質、核酸、無機物質等）の構造とその役割、酵素の働きと種類、ビタミンの種類と働き、代謝とエネルギー生産、糖質代謝、脂質代謝、タンパク質・アミノ酸代謝、核酸代謝、主な代謝異常と疾患、等について学ぶ。	講義
人体の構造と機能（解剖学）	人体の構造を部位ごとに、器官の名称、位置、形状を学習する。運動器については、骨格、筋、神経系を関連付けて理解する。消化器系、呼吸器系、泌尿器系、生殖器系等は、この後の人体の構造と機能でさらに学習するが、各器官を制御する神経系については脳神経と脊髄神経とその分岐、名称、走行、役割を学ぶ。循環器系は、心臓の構造と機能、主要な血管の分岐の名称、走行を理解する。身体についての科学的理解を形成する。	講義

授業科目の名称	講義等の内容	授業方法
人体の構造と機能Ⅱ	医療の学修を進めるためには人体の構造や機能の正確な知識が求められる。病院や在宅医療などすべての医療現場で向き合わなければならない病態や症状の理解、フィジカルアセスメントに「人体の構造と機能」の知識が必要となる。看護実践の基盤となるのが「人体の構造と機能」である。この授業では看護に必要な人体の仕組みと働きについて説明する。授業はスライドや模型を用いた講義形式で行う。本講義では、主に腎泌尿器系、生殖器系、内分泌系、免疫系に焦点を当てる。	講義
微生物学・免疫学	感染症の理解と予防の基礎としての微生物学と免疫学について学ぶ。微生物（細菌・ウイルス・真菌・原虫など）の理解（微生物の種類と構造、染色、培養）、環境中の微生物（常在細菌叢、環境中の微生物、食品と細菌）、感染と発症の基礎、微生物と感染症、感染症の予防、感染症に関わる制度、生体防御システムとしての免疫（免疫の種類、免疫にかかわる細胞、自然免疫、細胞性免疫、体液性免疫、免疫による予防と治療）。	講義
臨床薬理学	薬物についての基本的内容を学ぶと共に、臨床での扱いに必要な内容を学ぶ。薬物の分類、特性、作用機序等について学ぶ。薬理作用を規定する要因、薬物の投与方法、薬物動態（吸収、分布、代謝、排泄）、薬物の作用機序、相互作用、副作用、有害事象、禁忌、耐性、依存。薬物療法に対する人間の療養行動（コンプライアンス、アドヒアランス）、与薬の技術、薬物療法のモニタリング、薬物療法に対する患者アドヒアランスの支援。	講義
心のしくみと働き	人間は身体とこころの統合体であることを理解するために、本科目では、こころのしくみと働きを学修する。身体とこころの働きの関連、身体のように外からは見えないこころはどこにあるのか、知情意（思考・感情・知覚・認知・意識など）と外に表れた言動との関連、現在科学的に解明されている脳の働きとこころの働き、環境（人間関係含む）や文化に影響を受ける生活とこころの働き、ストレスとストレスへの対処（コーピング）、フロイトの精神力動理論によるこころのしくみや自我防衛機能と支援方法などを学ぶ。	講義
メンタルヘルス・マネジメント	人々と家族の心の健康・不健康のアセスメント、心の機能と発達、精神保健と人間関係、精神の健康に関する普及啓発、精神状態に影響する社会問題について学ぶ。	講義
看護概論	看護学全体の学びの基盤となる科目である。看護の主要概念を理解し、「看護とは何か」を学ぶ。看護の歴史的な変遷から、社会における看護の役割や機能、活動について考え、保健師助産師看護師法で定められている看護職の法的定義を理解する。保健医療福祉チームにおける看護の役割、看護職の倫理と法的責任を知り、看護専門職としての実践を支える看護制度や看護行政の組織について学ぶ。	講義
基礎技術Ⅱ	看護を実践するための基本的な看護技術のうち、医療的介入への支援技術を学ぶ。具体的には、創傷管理、与薬、救命救急、排泄障害の処置、安楽の維持（リラクゼーション）、安全の保持について根拠を踏まえた技術を修得する。	演習
ヒューマンケア実習Ⅱ	「基礎看護技術」「フィジカルアセスメント」「看護理論」「臨床判断論」で学んだ知識や技術をもとに、療養生活を営んでいる対象者への看護を実践的に学ぶ。対象者の発達段階や健康状態から日常生活の課題に気づき、解釈し、解決のための支援を考え実践して省察するまでの一連の過程を体験する。原則として、実習期間中に一人の対象者を受け持ち、専門職である看護師と活動を共にし、実践的に学ぶ。	実習
生涯発達看護論Ⅰ（母性）	ウイメンズヘルス、リプロダクティブ・ヘルスおよびヒューマンセクシュアリティの概念の理解と、女性の生涯にわたる健康と発達、マタニティサイクルにおける母子の健康の観点から女性とその家族を支援するための基礎知識について理解を深める。	講義
生涯発達看護論Ⅱ（小児）	子どもと家族を取り巻く環境、社会を踏まえ、発達理論を概観し、子どもの成長・発達、制度や子どもの権利に関する小児看護学の基礎を理解する。歴史的に辿ってきた子どもの姿をとらえ、小児期の身体的形態の発育、機能発達を捉えた上で、子どもの発達の様相、また子どもの権利、小児医療制度を理解し、子どもの健やかな育ちとその家族を支援する看護の基本を学ぶ。	講義
生涯発達看護論Ⅲ（成人）	成人期における健康増進、疾病予防に向けた取り組みを保健医療福祉政策や役割と共に学び、人口動態、疾病構造、受領状況等の健康指標を基に理解することや、成人期における多様な健康課題に対する看護（慢性疾患・難病・障害・がん）、セルフケア能力、家族ケア能力の支援と開発支援について学ぶ。 また近年の課題である、就労と療養支援（難病・がんを含む）について、生活を支援するという視点を養う。	講義
生涯発達看護論Ⅳ（老年）	加齢に伴う身体的、心理的、社会的変化が健康におよぼす影響や高齢者の発達課題、多様な能力（強み）を理解する。また健康課題をもつ高齢者とその家族を支える保健・医療・福祉制度を概観し、健康の維持、QOLの向上に必要な看護の役割とその基礎的知識を修得する。	講義

授業科目の名称	講義等の内容	授業方法
教育原理	教育の意義や目的について理解し、現代の学校教育の問題を認識し、望ましい教育の在り方が考察できる。教育に対する正しい見識を持つとともに、将来の教育者、保育者としての自覚と責任意識を身に付ける。教育思想史からみる教育の意義と目的、人間の発達と教育、現代の家庭教育や学校教育の諸課題、学校・教育諸制度を中心に講義する。学生には、自分の育ち、受けてきた教育を振り返り、今日的な教育諸問題に関心と意識化を図り、講義の深まりをねらう。	講義
教職論	教職の意義と教員の役割、教員の職務内容（研修、服務、身分保障等を含む）、職場の人間関係、保護者や地域社会との関係など、子どもをめぐる環境の変化と教師のしごとの変化に関する諸問題の検討を通じ、現代日本の教師の在り方を考える。	講義
教育制度論	日本および諸外国の教育制度について、基礎的な知識を身に付けるとともに、それらに関連する課題を理解する。教育制度は、教育に関する法規に基づき設計され、その背景にある思想が制度を歴史的・社会的に成立させてきた。日本における教育制度の変遷を学習するとともに、諸外国との比較を交えて、それらを構成する制度のしくみの展開や課題を検討する。さらに学校での教育活動を支える教育行政の組織やその働き、学校経営のしくみについて理解を深めていく。	講義
教育心理学	幼児・児童及び生徒に関する心身発達と学習過程について、基礎的な知識を獲得し、実場面の教育指導に関する基礎的な考え方を習得すること。さらに、当該教育領域に新しい知見が現れてもすぐに対応出来る人材育成をする。特に、考える習慣を身につけることを念頭に、パワーポイント教材を活用しながら、実際場面における課題を視覚的かつ模擬的に提示し、これらの課題解決への取り組みをレポート応答させる形式を随所に織り込む。加えて、クイズ形式の小問題も適宜出題する。確たるエビデンスに基づいた教育展開へ期待し、簡単な心理学実験演習課題も織り込んだ授業展開を行う。	講義
特別支援教育	障害の思想と理念、特別支援教育の理念を基礎基本に据え、障害のある幼児児童生徒に対する教育・指導・支援の在り方を修得し、演習を通して適切かつ有効な実践的支援力を養う。	講義
教育課程論	学校教育における教育課程の意義とその役割を理解し、教育課程編成の重要性について学び、教育実践に必要な基礎的な知識を学ぶ。 また、教育課程の編成を行う方法等に関する事項について学習指導要領から基礎的・理論的な理解を図り、世界的な教育改革の動向を踏まえ、教育課程の内容や方向性の認識を高める。また、教育課程の点検や評価についての理解を深め、教育現場での実践力を向上するために、講義を中心として基本的な理解を図り、発問および討議を織り交ぜて考察を深めていく。	講義
道德教育の理論と方法	道德教育を実施する教育者として、道德教育の歴史的変遷や、道德科として教科化した背景を学び、道德教育の意義について認識を深める。その上で、道德教育を実践するために、子ども一人ひとりの実態を把握し、他教科と関連させながら発展していくことができる、年間指導計画や学習指導計画作成の意義を理解し、実際に作成し、模擬授業と振り返りを行う。将来の教育者として、道德的価値に対する偏った意見にならないよう、他者との話し合いを通して多面的・多角的な捉え方をしたり、積極的に他者の長所を見つけ、認めたりすることを意識していく。	講義
特別活動及び総合的な学習の指導法	特別活動について目標、内容及び指導方法を把握し、その意義および活用方法について理解する。集団活動の種々の面でのその活動方法を学ぶとともに、児童間のコミュニケーション能力を高める方法を知るために、学生自身がアクティブ・ラーニングを体験することによって、「特別活動」をより効果的に運営できるようになる。 総合的な学習の時間の目標、内容及び指導方法を把握し、その意義および活用方法について理解する。児童・生徒が身に付けるべき思考力・判断力・表現力等および学びに向かう力、人間性等のあり方について考察し、そのために必要な探究課題の設定方法を軸に総合的な学習の時間のあり方について理解する。	講義
教育の方法と技術	「児童・生徒が如何にして学びに向かうか」の場を創り出す授業の創造について学ぶ。日本の学校教育における授業の歩み、問題解決学修の授業構想、総合的な学習について学ぶ。授業におけるICT活用と効果、授業に情報活用する能力について学ぶ。	講義
生徒指導	生徒指導は、全ての児童生徒を対象に、教育目標である人格形成に向けて学校生活全体を通じ日常的に行われるものであることを理解し、生徒指導の意義を考える。また、問題行動、いじめや不登校など事例検討を通して実践的な指導力を養い、児童生徒の自尊感情や自己有用感が育まれるような場や機会の設定の在り方について例示する力を身につける。さらに、進路指導を包括するキャリア教育の意義や原理を理解し、教育活動全体を通じた指導の在り方を検討する。	講義

授業科目の名称	講義等の内容	授業方法
教育相談	幼稚園および小学校・中学校・高等学校における教育相談の意義と理論を理解し、カウンセリング・マインドの必要性と基礎的な姿勢・技法を理解することを目標とする。また、子どもおよび保護者に対する教育相談を行う際の計画の作成や進め方を学び、あわせて組織的な取り組みの必要性を理解する。幼稚園や小学校・中学校・高等学校など集団における適応能力の発達、個々の心理的特質や教育的課題等、事例を用いて授業を展開する。また、パーソナリティの発達や自我の防衛機制についても解説し、児童期における心身の発達のバランスについても理解を深める授業内容とする。	講義
事前及び事後指導（養護）	事前指導においては、養護実習の目的を理解し、既修学修の内容を踏まえて養護実習の意義と目的、目標を明確化し、児童生徒・保健室運営・保健指導・保健教育・学校・教育への理解を深める。事後指導では、養護実習で体験した養護・教育・目指す養護教師像を振り返り、考察する。	実習
養護実習	児童・生徒および養護教諭を中心とした教職員との交流を通して、学校における保健教育、保健管理、安全教育、学校保健や学校安全の組織管理について理解する。学校保健や学校安全がどのような理念および体制で管理運営されているのかを、保健室の活動に参加し、理解を深める。	実習
教職インターンシップ	幼稚園、小学校・中学校・高等学校教育における授業、特別活動、部活動などの教員の日常業務を半期に渡って観察、体験し、学校における教育活動についての、具体的理解を深める。学校教育の様々な場面を観察し、教員の業務について知り、学校における教育活動における具体的理解を深める。また、学校における、教員と幼児・児童との関係について具体的理解を深める。	実習
教職実践演習（養護教諭）	児童・生徒および教職員との交流を通して、学校で展開されている教育活動、教職員及び児童・生徒の学校での生活を体験的に理解する。公教育機関である学校が、どのような理念や体制で運営されているのかを、教師としての立場から理解する。学校の運営計画や教育課程、校務分掌、服務規程など学校を支える制度について理解する。	演習
【教育職員免許法施行規則第66の6に定める科目】		
社会と人権（日本国憲法）	憲法の内容は、「人権」（国民の権利と義務）に関する記述と、「統治」（国家のしくみ）に関する記述に分けることができる。本講義では「人権」に関する規定の解説をおこなう。憲法の人権規定にかかわった具体的な裁判の解説をとおして、憲法が私たちの日々の生活にいかに関与している存在であるのかという理解を深める。またその時々憲法をめぐるニュースを紹介する。	講義
体育講義	子どもの運動発達の特徴やその重要性および発達に応じた運動指導、進んで運動する子どもを育てるための指導者の関わりについて説明する。また、運動における教育的意味を学び、運動指導の理論や知識を深める。	講義
体育実技	身体活動を通じて、健康保持増進及び運動技術の向上を図る。運動、スポーツ、健康に関する知識や方法を身につけ、健康な生活を送るために必要な基礎知識を習得し、生涯スポーツの一助とする。集団行動を基に、球技では集団の中の個人としての役割を果たすことにより、社会性や協調性を身につけることを目的とする。また、器械運動・水泳・陸上競技等においては、個人としての能力向上を目指し、課題を克服するための資質や能力を身につけることを目的とする。様々な運動経験を通して教育者・保育者としての資質や能力の向上を目指す。	実技
Speaking & Listening	学習者は、基本的な英語の表現・パターンを応用して、自分が伝えたいことを英語で表現できるようになる。英語の発音やイントネーションについての基本的な知識を持ち、それらを英会話の中で活かすことができる。主に、実践的なコミュニケーション力を伸ばすために、体系的な学習内容に関して繰り返し実用的練習（学生同士における練習〔ペアワーク・グループワーク〕及び担当者により評価の対象となる個別スピーキング・リスニング練習）を行いながら、必要な知識と言語能力を段階的に習得していく。	演習
Writing	学習者は、辞書等を参照しつつも、自分が相手に伝えたいことを英語で表現できるようになる。学習者は、基本的な英語の表現・パターンに習熟し、パラグラフの構造を理解し、英語表現に役立てることができる。学習者は、伝える相手や状況に応じて、適切な表現を用いて英語でコミュニケーションができる。文法ではなく、場面やことばの動きを中心にシラバスは組まれる。想定される活動：基本的な英語の表現・文のパターンを参照して、自分にあった表現をする。8つのグループに分れて学ぶ。割り振られたグループで受講のこと。	演習
Reading I	様々なタイプの英語テキストから、大切な情報を読み取る力を身につける。英語の基本的な語彙と文型を理解し、基本的な英語テキストから、必要な情報を収集し整理することができる。英語テキストには様々な種類があることを理解し、その種類にあった読み方ができる。英語テキストでの情報提示の形式を理解できる。8つのグループに分れて学ぶ。割り振られたグループで受講のこと。	演習

授業科目の名称	講義等の内容	授業方法
Reading II	学習者は、学術的にやや専門的な内容を含む英文を読んで理解できるようになる。内容重視のアプローチで、大学生の知的好奇心を満たすようなアカデミックな内容を英語で読む活動が中心となる。英語テキストの理解を深めるために、英語以外の資料・図なども積極的に活用される。授業の難易度は使用されるテキストにより決まるので、受講者はそれを見て自分に合うか判断する。	演習
Process Writing	学習者は、テーマを決めて、推敲を繰り返し、比較的長めのまとまった文章がかけられるようになる。学習者は、自分の英語表現を繰り返し英語教員にチェックされフィードバックを受けることにより、次第に自分中心の文章から読み手を意識した文章を産出できるようになる。学習者が表現したいことは個人個人で異なるため、個別指導が行われる。学習者は、すでに基本的な英語の表現・パターンに習熟していることが期待される。想定される活動：学習者はテーマを決め、自分が伝えたいことが、どのようにすれば英語で効果的に表現できるかを、個々に教員と相談しながら、学んでいく。	演習
時事英語	学習者は、ラジオ・新聞やインターネットなどでの報道でよく使われる英語表現の特徴を理解し、時事英語を聴いたり読んだりして理解できる。諸外国の英語報道だけでなく日本が英語で海外に発信されている報道も教材に含める。教育・看護系の学生が興味をもちそうな内容を開講時期の報道から適期選択する。想定される活動：時事英語でよく使われる英語表現のリストの作成、インターネット上の英文記事の読解・音声による報道の聴解。英語学習に役立つインターネット上のリソースについてその使い方を学ぶ。	演習
異文化交流（海外語学研修）	学内での事前指導（2時間×3回＝6時間）を通して、国際関係や海外事情並びに生活での留意点等を学習した後、夏期休暇中（8月）に姉妹校であるカナダ・バンクーバーアイランド大学の英語セミナーに参加し、語学教育を受けるとともに異文化交流を図る。現地の保育・保健施設、文化施設の訪問や現地の人々との交流を通して、教師、保育士、看護師としての豊かな国際感覚を身に付ける。研修中はホストファミリー宅に滞在してバンクーバーアイランド大学に通う。研修後は異文化体験における学修成果をまとめ、報告会で発表する。	演習
情報リテラシー I	急速に進みつつある情報化の流れの中で、私たちは目的に応じて主体的に情報を選択・収集し、分析・編集した上で発信する等、さまざまな情報を適切に活用していく能力が求められる。私たちがこの情報化社会に対応できる能力を身につけるためには、情報機器（パーソナルコンピュータ、タブレット端末等）の基本的操作の習得も必要不可欠となる。本授業では、パーソナルコンピュータをはじめとする情報機器の基礎知識と基本的操作の習得に加え、Microsoft OfficeアプリケーションソフトのWord/Excel/PowerPointの操作方法についても学ぶ。そして、これらのアプリケーションソフトを用いて図表の作成を含むレポートや課題作成、論文作成やプレゼンテーションなどの演習を通して主体的かつ積極的に情報を活用していく能力の育成を目指す。	演習
ICT活用演習	教育や保育の現場で情報機器を活用する場面を想定して実践的な課題に取り組み、ICTの活用法を深化させる。小集団で企画構想を練り役割分担して、課題の作成から発表、および相互評価までの学習活動を行う。ネットワーク上のリソースやコミュニケーションツールを活用し、学習者が協同して主体的に学習を進めるよう授業を展開していく。	演習